

## 杏林大学大学院保健学研究科 平成29年度春学期研究報告会プログラム

7月21日(金)

在学生の研究報告:修士は発表10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

時間	演者		分野	指導教員	題名	座長
9:00-9:05	大瀧研究科長 開会の辞					
9:05-9:30	保博5S	小濱 優子	保健学・救急救命学	照屋	用手的介入がケア実施者自身の心身へ及ぼす影響に関する基礎的研究	大迫
9:30-9:47	保修3S	木下 瑞貴	臨床検査・生命科学	石井(和)	きな粉摂取後のヒト血漿中 equo1 とそのジアステレオマーを含む抱合代謝物の分析	大迫
9:47-10:12	保博5S	大城 直美	リハビリテーション科学	丹羽	I型糖尿病モデルラットにおける 腹壁筋を支配する運動ニューロンと筋の形態変化について	大迫
10:12-10:37	保博5S	長島 泉	リハビリテーション科学	下田	手の心的回転課題遂行方略の加齢による変化	大迫
10:37-10:45	休憩					
10:45-11:10	保博5S	玉木 徹	リハビリテーション科学	丹羽	糖尿病に起因する筋の機能障害と運動ニューロンの形態学的変化	田中(浩)
11:10-11:35	保博3S	内田 賢一	リハビリテーション科学	八並	健常高齢者の呼吸機能の縦断的研究および運動介入効果に関する研究	中野
11:35-12:00	保博3S	太田 智裕	リハビリテーション科学	齋藤(昭)	回復期脳卒中者における下肢装具の適用に関連する動作能力の特性と下肢装具が動作能力へ及ぼす影響の検証	八並
12:00-13:00	昼休み					
13:00-13:25	保博3S	清水 夏生	リハビリテーション科学	齋藤(昭)	回復期脳卒中者における理学療法介入実施中の活動強度の実態および加速度計を用いた身体活動量測定の妥当性	八並
13:25-13:42	保修3S	相原 圭太	リハビリテーション科学	八並	脳卒中片麻痺患者の痙縮の経時的変化と歩行速度の関連	中野
13:42-13:59	保修3S	青島 悟	臨床工学	四倉 中島(章)	透析用監視装置の安全監視項目に関する計測装置の作成と運用システムの開発	岸野
13:59-14:16	保修3S	木村 礼美	臨床工学	四倉 中島(章)	汎用データベースとタブレット端末を利用した透析業務支援システムの開発	岸野
14:16-14:25	休憩					
14:25-14:42	保修3S	濱 祐輔	臨床工学	四倉	複合的な電気刺激を利用した、皮膚感覚の定量的分類評価に関する研究	岸野
14:42-15:07	看博3S	伊藤 有美	実践看護科学	中島(恵)	人工呼吸管理中の重症患者における病態に応じた疼痛評価の検討	亀崎
15:07-15:24	保修3S	山本 裕美	保健学	太田	自治体が行っている母子手帳交付時面接の効果について	亀崎